

IR 事業説明会

電装エレクトロニクス事業

電装エレクトロニクス統括部門

川口 寛

2018年6月8日

古河電気工業株式会社

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

古河電気工業株式会社

- I. 組織紹介
- II. 統括部門の狙い
- III. 電装エレクトロニクス事業 将来に向けて

組織

電装エレクトロニクス統括部門

自動車部品事業部門

導電材事業部門

巻線事業部門

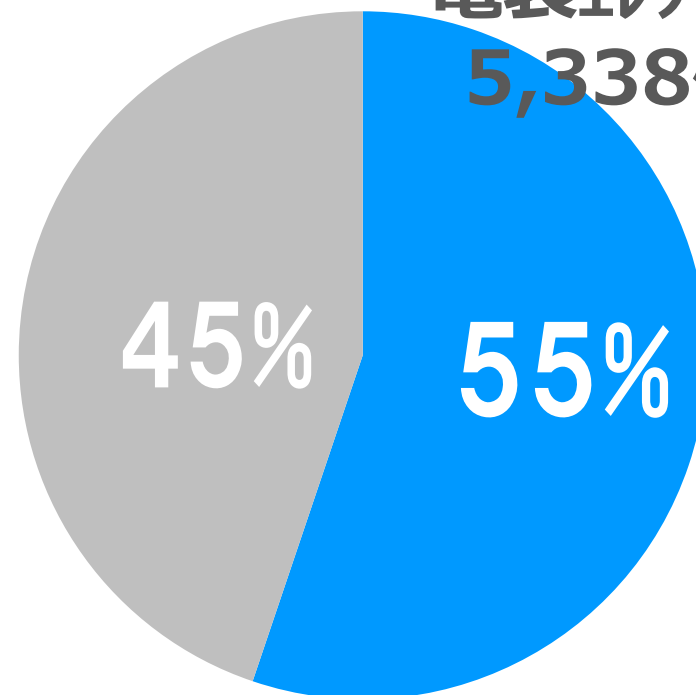
銅条・高機能材事業部門

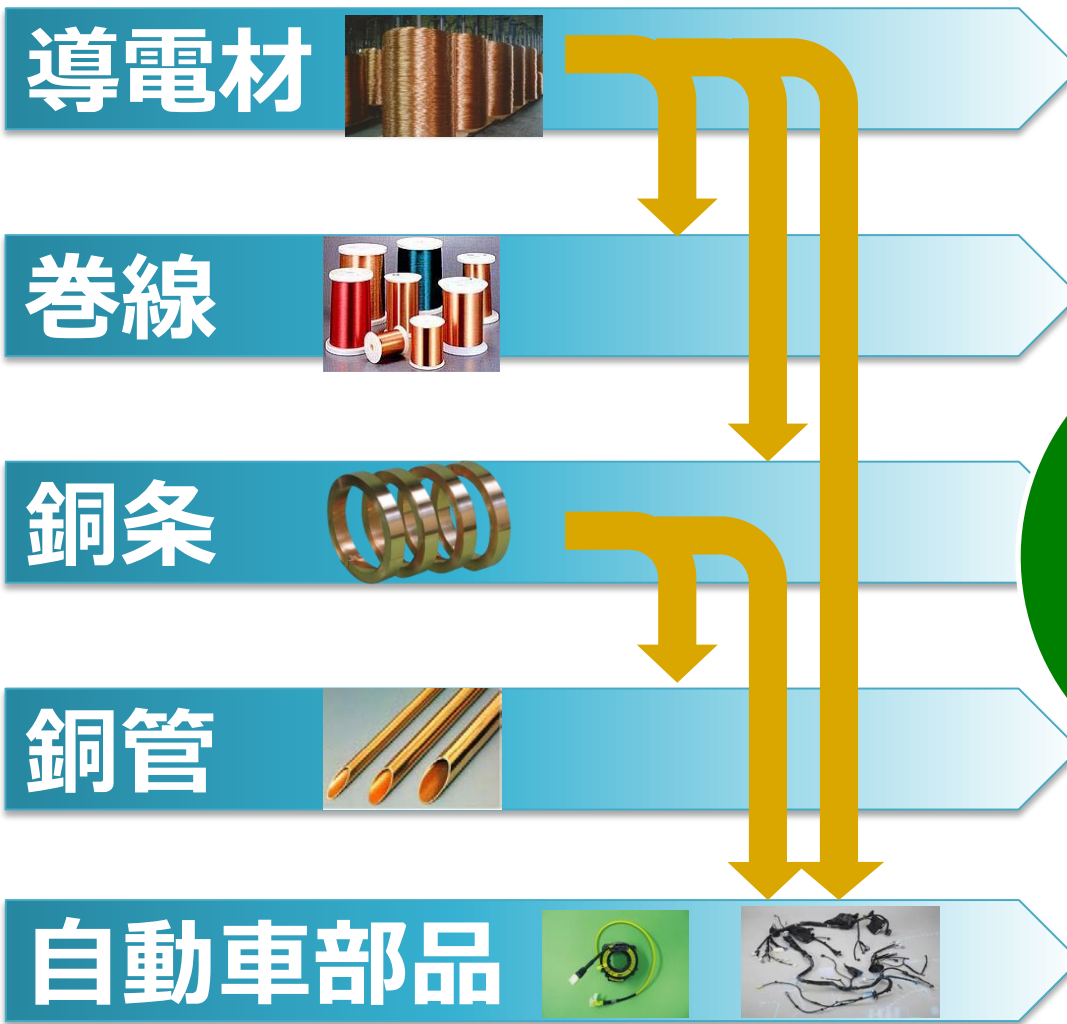
銅管事業部門

2017年度 売上高

古河グループ 9,673億円

電装エレクトロニクス
5,338億円
※電池含む





製品開発・市場開拓を加速

エネルギー・情報・熱を、伝える・繋ぐ・蓄えることで、
インフラ・自動車部品とその融合分野を中心とした社会変化に貢献してまいります



電装エレクトロニクス事業 将来に向けて

● 2018

● 2019

● 2020

● 2025

● 収益改善取組

銅条：製品ミックスの最適化

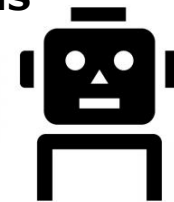
巻線：低採算品の価格改定協議

✓ 強みを活かし、融合や協働によりビジネスチャンスを拡大成長させる

✓ 新製品・新事業の創出、川下事業・部品事業を強化させる



Connected
Autonomous
Shared
Electric



IoT

5G

One Furukawa

コラボ製品
収益拡大

車載用サーマル製品/
車載用高速通信

融合・協働

巻線：HVWW®

自動車部品：次世代レーダ

自動車部品：次世代BSS

自動車部品：ハーネス軽量化/a端子

銅条：コルソン銅(TEC-97,Cube,FAS-680)

ご清聴ありがとうございました。

Bound to  ***Innovate***